

令和 7 年度事業報告

1 会議

令和 7 年 5 月 1 5 日(木)に古川町公民館大会議室にて定時総会を開催した。令和 6 年度事業報告、収支決算報告、重点項目、役員改選、令和 7 年度事業計画案及び収支予算案について審議し、承認された。

役員会、常任理事会その他下記のとおり。

内 容	回 数	議 事	月	日	曜	会 場
総 会	定 時	令和 6 年度事業・収支決算報告、重点項目、役員改選、令和 7 年度事業計画案・収支予算案	5	15	木	古川町公民館
役 員 会	第 1 回	飛騨地区スポーツ大会、岐阜県民スポーツ大会結団式、スポーツ振興課懇談会に向けて、加盟団体備品要望、地域クラブ展開、スポーツイベント	6	20	金	古川町公民館
	第 2 回	報告事項、講習会	11	12	水	古川町 CC
	第 3 回	講話（法人化メリット、デメリット）	2	4	水	古川町 CC
	第 4 回	令和 8 年度関係、法人化の今後	3	12	木	古川町 CC
常任理事会	第 1 回	表彰者、令和 7 年度総会内容検討	4	25	金	古川町公民館
	第 2 回	スポーツ振興課との懇談会に向けて、結団式、備品希望、ユニフォーム購入補助	7	18	金	古川町 CC
	第 3 回	法人設立、8 年度関係	3	26	木	古川町 CC
理事会	第 1 回	新役員選出、令和 7 年度事業計画策定	4	3	木	古川町公民館
飛騨地区 役員会	総 会	役員改選、令和 6 年度事業報告・収支決算報告、令和 7 年度事業計画・予算案、飛騨地区スポーツ大会他	4	24	木	ひだホテルプラザ
	第 2 回	飛騨地区スポーツ大会表彰他	11	5	水	下呂市萩原町

※岐阜県スポーツ懇談会(R8. 2. 25)は中止

2 協会組織力の強化

○賛助会員の拡大と新たなスポンサー企業の獲得

賛助会員拡大の働きかけは活発とはいえず、令和 7 年度末の会費納入は法人会員 3 9 件、個人会員 2 3 件で前年度と大きな変動はない。11 月に行われた HIDA スポフェス 2025 の場で P R や募集チラシの配布などをした。その後、会報や募集ののぼり旗を見て数名の個人会員の加入があった。法人化に向けて財源確保は必須であり、引き続き重要課題である。

3 加盟団体の組織の充実及び競技力の向上

○県民スポーツ大会での成績向上

飛騨地区スポーツ大会は 7 月 6 日（日）に開催された。飛騨市は 1 3 種目にエントリーし、サッカー、バスケットボール女子、柔道、バレーボールシニア女子、ソフトボールレディースが優勝

した。総合得点76点で、高山市、下呂市とも大きく差をつけられ。地区3位であった。アーチェリー競技は1名ながら初参加となった。小人数ながらも頑張っている競技種目の開拓も必要である。

9月には21日(日)を中心に第17回岐阜県民スポーツ大会が飛騨地区を中心に開催された。飛騨市は11種目166名の選手団となった。昨年度より2種目37名の減となり残念である。総合開会式は高山ビッグアリーナで開催された。パワーリフティング3位、サッカー、柔道が5位、バスケットボール、バレーボールが6位、剣道が7位と入賞した。2月の冬季大会はアルペンスキー、クロスカントリー共に郡上市で開催され、2位であった。結果、総合成績は14位だった。参加競技種目を増やすことも課題である。

令和6年度は飛騨地区大会に向けて壮行会を開催したが、令和7年度は8月29日に飛騨市選手団結団式を開催した。来賓に下出尚弘飛騨市教育長、布俣正也岐阜県議会議員を招き、各団ユニフォームで臨み、各団の決意を述べてもらった。選手誓いの言葉は谷口貴洋選手(飛騨市サッカー協会)、その後「頑張ろう三唱」(松木耕平選手:飛騨市柔道協会)で士気を高めた。賛助会より奨励品として参加選手全員分のスポーツドリンクを、賛助会を代表して(有)まるじんの北村伊佐雄代表取締役より贈呈していただいた。

第17回岐阜県民スポーツ大会結果(確定)

順位	郡市名	点数	順位	郡市名	点数	順位	郡市名	点数	入賞種目	順位
1	大垣市	217.5	11	郡上市	43.83	21	本巣市	28.35	サッカー	5位
2	岐阜市	176	12	羽島市	43	22	揖斐郡	27.35	バスケットボール	6位
3	各務原市	108	13	加茂郡	41	23	下呂市	24	柔道	5位
4	可児市	93.25	14	飛騨市	40	24	海津市	22	剣道	7位
5	高山市	81.18	15	羽島郡	36.5	25	安八郡	19.5	バレーボール	6位
6	土岐市	76	16	不破郡	35.5	26	瑞浪市	18.85	パワーリフティング	3位
7	美濃加茂市	72	17	山県市	35.1	27	美濃市	17.83	スキー	2位
8	関市	64.83	18	恵那市	32.75	28	可児郡	14.33		
9	中津川市	64.18	19	瑞穂市	30.1	29	本巣郡	6		
10	多治見市	57	20	養老郡	30	29	大野郡	6		

飛騨市の過去成績

11回(R1)	14位
12回(R2)	24位
13回(R3)	中止
14回(R4)	19位
15回(R5)	15位
16回(R6)	13位

○選手の競技力向上と指導者資質向上のための講習会、研修会の充実

11月29日(土)午後にはアスレチックトレーナーの関賢一氏の講習会を計画した。昨年度の希望によりジュニア対象と一般対象の二部制で企画したが、インフルエンザ等の蔓延の影響もあり、参加希望があまりにも少なく昨年度に引き続き止むなく中止とした。中学校部活動の地域展開が進み、令和8年度からは完全実施となる中、指導に従事する会員の資質向上、また競技者自身のレベルアップのための講習会を計画しているが、会員のニーズに合った研修となるよう内容等をよく練ることが必要である。

指導者資格取得や更新のための講習への参加者に対して支援を行った。

○新規スポーツ分野への対応支援

今年度、飛騨地区スポーツ大会のアーチェリー競技に1名が参加した。参加にあたり当協会へ個人加盟をしてもらった。このように、少人数で団体が組織できない競技者もスポーツを楽しんだり大会参加できたりするような体制をとることで、飛騨市のスポーツ振興に寄与していきたい。

○組織の充実

昨年度に引き続き、備品購入を実施した。購入備品は下記のとおりである。今年度も会長より団体へ贈呈式を行い、感謝の気持ちで大切に使用してもらう意識を高めた。購入費用については、本会計と賛助会費とで支出した。

バレーボール男子、バレーボールシニア女子の県大会出場に伴い、ユニフォーム作成費用の補助を賛助会費より支出した。

令和7年度購入備品

団 体 名	備 品 名
飛騨市スキー連盟	スラローム用ポール 20セット
飛騨市バレーボール連盟	ネット 1張
	ネット用アンテナ 1組

4 生涯スポーツの普及推進

○市民向けスポーツイベントの企画・運営

今年度も加盟団体が主催する市民大会が計画され、15大会が開催された。(詳細は ページ)多くの市民が参加し楽しむことができたが、年々、参加人数やチームの減少、人数が揃わず棄権というケースもあった。運営側の負担が大きい大会もあり、検討が必要である。

地域に根差してきた事業の継続として、地域の実行委員会の運営により宮川町大運動会が開催され、老若男女107人の参加で多いに盛り上がった。

初の当協会主催事業として、11月1日(土)に古川中学校体育館及び古川トレーニングセンターを会場として「HIDA スポーツフェスティバル2025」を開催した。実行委員会を組織し、加盟団体の参加のもと各種競技を体験してもらいスポーツに親しむ一日となった。ジュニアウインドオーケストラや古川中学校マイプロジェクトの協力も得、大いに盛り上がった。マイプロジェクトによる準備段階から当日の手伝いなど頼もしい働きには多くの感動をもらうことができた。初めての企画としては大成功だったが、次年度以降反省点を活かし、市民がスポーツに親しむ場を提供していきたい。

5 ジュニア育成の推進

○ジュニア育成事業の支援

飛騨市バレーボール連盟主催の「飛騨市バレーボールクリニック～体をつかいこなそう～」が飛騨市内の高等学校及び飛騨市認定地域クラブを対象に競技力向上を目的とした研修会が開催された。また地域クラブ体験として無料体験会が2月15日に開催された。飛騨市柔道協会は、11月

15日に「柔道×書-礼法を学ぶ」と題し、書道家の茂住菁邨氏によるデモンストレーション、道とつながる字の練習を行い、和の心を学んだ。飛騨市グラウンド・ゴルフ協会も恒例の小学生グラウンド・ゴルフ教室の開催や、今年度は古川中学生との対戦をするなど活動が広がっている。今後も引き続き支援をしていく予定である。

○中学校部活動の地域展開支援

中学校地域部活動の地域展開完全実施を令和8年度に控え、指導者育成および資質向上は重要であり、本会としても重点を置いている。岐阜県及び岐阜県スポーツ協会が主催する地域指導者育成研修会への参加呼びかけを積極的に行うと共に、参加者への補助を行った。

○指導者育成とライセンス取得支援

指導者資格取得や更新のための講習への参加者に対しても支援を行い、指導者の確保にも力を入れていく。

6. 法人化の推進

○目的部会（法人化推進部会）の設置

第3回役員会において、一般財団法人岐阜県スキー連盟の立ち上げに関わった竹内学氏による講話を設定し、法人化の意義や発生する事務について学習した。常任理事会、理事会を通して、加盟団体への説明と共に、理解、同意を進めていく予定である。また県下の法人格の団体の定款を取り寄せ参考に策定していく予定である。

7. 行政との意見交換

○スポーツ振興課との懇談

7月30日（水）にスポーツ振興課との懇談を実施した。先方より事前にいただいた質問事項への回答をもとに意見交流を行った。持続可能な組織も含めた今後の組織運営、指定管理制度、スポーツによる街づくりへの参画について意見交換をした。中でも、スポーツ施設の改修、修繕等は喫緊の課題であり、強く要望した。また、令和8年度から中学校地域クラブ展開が完全実施となるが、9年度からの支援センターの事務委託の打診があり、改めて懇談会を持つこととなった。

懇談会は8月22日（金）に実施した。飛騨市教育委員会からは生涯学習課長、スポーツ振興課長、地域移行担当者、当協会からは会長、副会長、理事長、副理事長、事務局、スポーツ少年団理事が出席した。事務内容の説明後、質疑応答があったが、事務量、予算、拠点となる事務所棟の問題が多くあり、受託するにはひとつひとつ突き詰めていき検討する必要がある。

飛騨市のスポーツ振興を担う団体として、今後も担当課との懇談は継続していく。

8 情報発信の強化

○ホームページの情報発信強化

ホームページによる各種大会の情報掲載、申込みやとりまとめを行った。大会結果をすみやかに掲載し、素早い情報提供を行った。各種申請様式のダウンロードもホームページから実施している団体もあり、更なる事務の簡素化につなげたい。また、団体からのホームページへの記事の記載依頼も増えてきたが、一般への周知度がまだまだ低いことが課題である。

○SNS・広報誌を活用した活動報告の充実

会報第5号6号を発行した。旬な話題提供をめざし年2回発行した。当協会の活動を広く知ってもらうために町内回覧と新聞折り込みにて配布、ホームページにも掲載した。

FacebookやInstagramなどSNS利用者も多いため、こちらも活用していきたい。

9 顕彰事業

○優秀選手や団体、貢献者の表彰制度の継続

令和6年度の大会等において優秀な成績を納めた個人13名及び2団体を、令和7年度総会時に表彰し栄誉を讃えた。